



令和元年7月24日

主催：東京湾再生推進会議モニタリング分科会
九都県市首脳会議環境問題対策委員会水質改善専門部会
東京湾岸自治体環境保全会議
東京湾再生官民連携フォーラム東京湾環境モニタリングの推進プロジェクトチーム
後援：一般社団法人 日本経済団体連合会

東京湾環境一斉調査を実施します (東京湾における流域及び海域の環境一斉調査) ～参加機関等のお知らせ～

令和元年度の東京湾環境一斉調査には、企業や市民団体を含む、合計 155 機関から参加表明をいただきました。

参加機関一覧は別紙 1、生物調査一覧は別紙 2、環境啓発活動等のイベント一覧は別紙 3 をご覧ください。

参加機関の皆様は、調査日の気象・海象状況に応じて安全な行動をお願いいたします。詳細な実施方法等につきましては、お申込みいただいた窓口からご連絡いたします。

1 水質調査

- ・実施基準日 令和元年 8 月 7 日 (水)
予備日 令和元年 9 月 4 日 (水)
- ・調査内容 東京湾の海域又は流域河川において、次の項目等の調査を実施
【海域】水温、塩分、溶存酸素量 (DO)、化学的酸素要求量 (COD)、透明度
【陸域】水温、流量、溶存酸素量 (DO)、化学的酸素要求量 (COD)、透視度
- ・参加機関数 138 機関

2 生物調査

- ・実施期間 令和元年 7 月から 9 月
- ・調査内容 東京湾の底生生物、カニ、魚類等の調査を実施
- ・参加機関数 20 機関

3 環境啓発活動等のイベントの実施

- ・実施期間 令和元年 7 月から 9 月
- ・活動内容 水質改善等に関する普及啓発活動を含むイベントを実施
- ・参加機関数 17 機関

なお、実施時期の前後に実施される調査についても対象とします。

4 取材の申し込みについて

取材をご希望の方は、7 月 31 日 (水) 15 時までに次の申込先まで電話又はメールでご連絡ください。取材内容に応じて、取材可能な参加機関をご紹介します。

【申込先】 電話：03-3595-3636 E-mail：jcghtokyobay@mlit.go.jp

【担当】 海上保安庁海洋情報部環境調査課 中村、久保田

5 結果の公表

東京湾環境一斉調査の結果については、令和2年3月中を目途に下記ウェブサイト
に報告書を掲載する予定です。過去の調査結果についても同ウェブサイトでご覧いた
だけます。

https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB_Renaissance/Monitoring/General_survey/index.htm

問い合わせ先

東京湾再生推進会議モニタリング分科会事務局

・海上保安庁海洋情報部環境調査課

中村、久保田 03-3595-3636

・環境省水・大気環境局水環境課閉鎖性海域対策室

森 03-5521-8319

- 東京湾環境一斉調査日の潮汐推算について、下記ウェブサイトでご確認いただけます。
ぜひご参照ください。

https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TIDE/tide_pred/5.htm

参考

○「東京湾再生推進会議」

平成 13 年 12 月に都市再生本部の都市再生プロジェクト（第三次決定）として、水質汚濁が慢性化している大都市圏の「海の再生」を図るため、平成 14 年 2 月に設置されました（構成員は、関係省庁と関係地方公共団体）。平成 15 年 3 月に「東京湾再生のための行動計画」を策定し、平成 25 年 5 月に期末評価を実施しました。平成 25 年からは、「東京湾再生のための行動計画（第二期）」を進めています。

なお、推進会議の下部機関として「幹事会」、「陸域対策分科会」、「海域対策分科会」、「モニタリング分科会」が設けられています。

○「九都県市首脳会議環境問題対策委員会水質改善専門部会」

平成元年 6 月の「首都圏環境宣言」を踏まえ、九都県市※（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市及び相模原市）が協調して取り組むべき方策を検討するため、平成元年 11 月に環境問題対策委員会のもとに設置されました。

東京湾の水質改善に係る下水道の整備、富栄養化対策等に関する事項の調査、検討、情報交換等を行っています。

※平成元年当時は六都県市（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、横浜市、川崎市）

○「東京湾岸自治体環境保全会議」

昭和 48 年 6 月に開催された「東京湾を囲む都市の公害対策会議」において、東京湾の環境保全と広域的対策を図るための早急な機構整備の必要性が提案されたことを受け、昭和 50 年 8 月に設立されました。東京湾岸に面する 1 都 2 県 16 市 1 町 6 特別区の 26 自治体で構成され、住民への環境保全に係る啓発や、連带的・統一的な環境行政の推進を目的に湾岸地域の環境保全に取り組んでいます。

○「東京湾再生官民連携フォーラム」

「東京湾再生のための行動計画（第二期）」では、多様な関係者の参画による議論や行動の活発化・多様化を図るための組織の設立が掲げられました。このことから、平成 25 年 11 月に「東京湾再生官民連携フォーラム（以下、フォーラムという）が設立されました。

フォーラムでは、東京湾再生に意欲を持つ多様な人々が集い、現状や課題を理解・共有し、共に解決策を模索し、東京湾の魅力を発掘・創出・発信することにより、東京湾再生の輪を拡げる活動に取り組むこと、そうした活動から育成・醸成された多様な関係者の多様な意見を尊重しつつ総意をとりまとめ、「東京湾再生推進会議」へ提案する役割が期待されています。現在までに「東京湾環境モニタリングの推進プロジェクトチーム」を含め 9 つのプロジェクトチームが立ち上がっています。

- ・ 住友化学株式会社 千葉工場袖ヶ浦地区●
- ・ 住友重機械工業株式会社●
- ・ セントラル硝子株式会社 川崎工場●
- ・ 太平洋製糖株式会社●
- ・ ダイワ化成株式会社 大宮工場●
- ・ 千葉明治牛乳株式会社●
- ・ 寺田倉庫株式会社●
- ・ 電源開発株式会社 磯子火力発電所●
- ・ 東亜建設工業株式会社●
- ・ 東亜合成株式会社 川崎工場●
- ・ 東亜石油株式会社●
- ・ 東京ガス株式会社●
- ・ 東京ガス株式会社 扇島 LNG 基地●
- ・ 東京ガス株式会社 袖ヶ浦 LNG 基地●
- ・ 東京ガス株式会社 根岸 LNG 基地●
- ・ 東芝エネルギーシステムズ株式会社
浜川崎工場●
- ・ 東芝プラントシステム株式会社
川崎ソリッドスクエア事業所●
- ・ 東洋水産株式会社 埼玉工場●
- ・ トーヨーケム株式会社●
- ・ 流山キッコーマン株式会社●
- ・ 日油株式会社 川崎事業所●
- ・ 日産自動車株式会社 追浜工場●
- ・ 日産自動車株式会社 本牧専用埠頭●
- ・ 日産自動車株式会社 横浜工場●
- ・ 日本製紙クレシア株式会社 東京工場●
- ・ 日本製鉄株式会社 君津製鉄所●
- ・ 日本ゼオン株式会社 川崎工場●
- ・ 日本通運株式会社●
- ・ 日本乳化剤株式会社 川崎工場●
- ・ 日本冶金工業株式会社 川崎製造所●
- ・ 日立金属株式会社 熊谷事業所●
- ・ 不二ライトメタル株式会社
東日本事業部●
- ・ 北海製罐株式会社 岩槻工場●
- ・ 三井化学株式会社 市原工場●
- ・ 三菱ケミカル株式会社 鶴見工場●
- ・ 森永乳業株式会社 東京工場●
- ・ 森永乳業株式会社 東京多摩工場●
- ・ 雪印メグミルク株式会社 野田工場●
- ・ 横浜・八景島シーパラダイス●◆◆
(株式会社 横浜八景島)

<市民団体など：21 団体>

- (内訳：水質調査 7 団体 生物調査 11 団体 環境啓発イベント 7 団体)
- ・ NPO 法人 21 世紀水倶楽部◆
 - ・ NPO 法人
東京湾グリーンボランティア◆
 - ・ NPO 法人 横浜シーフレンズ●◆
 - ・ 生き生き東京湾研究会◆
 - ・ 一般社団法人 埼玉県環境計量協議会●
 - ・ 海辺つくり研究会★
 - ・ 浦安三番瀬を大切に作る会◆
 - ・ 浦安水辺の会◆
 - ・ 江戸前ハゼ復活プロジェクト◆
 - ・ 大田区環境マイスターの会◆
 - ・ 大森 海苔のふるさと館●◆◆
 - ・ 川はともだち●
 - ・ 高島水際線公園愛護会★
 - ・ 東京湾シギチドリ一斉調査グループ◆
 - ・ 東京湾再生官民連携フォーラム★
 - ・ 東京湾の環境をよくするために行動する会◆◆
 - ・ 認定 NPO 法人 ヴォース・ニッポン●
 - ・ 認定 NPO 法人
ふるさと東京を考える実行委員会●
 - ・ ハマの海を想う会★
 - ・ ふなばし三番瀬環境学習館◆

- ・ みずとみどり研究会●

<大学・研究機関など：6機関>

(内訳：水質調査 6機関 生物調査 1機関 環境啓発イベント 2機関)

- ・ 神奈川県水産技術センター●
- ・ 船の科学館●★
- ・ 芝浦工業大学●
- (公益財団法人日本海事科学振興財団)
- ・ 千葉県水産総合研究センター●
- ・ 横浜市環境創造局 環境科学研究所●◆★
- ・ 東京海洋大学●

<地方公共団体：36団体> (本項目のみ全国地方公共団体コード順)

(内訳：水質調査 35団体 生物調査 3団体 環境啓発イベント 1団体)

- ・ 埼玉県●
- ・ 市川市●
- ・ 中央区●
- ・ 町田市●
- ・ 川越市●
- ・ 船橋市●
- ・ 港区●
- ・ 西東京市●
- ・ 熊谷市●
- ・ 松戸市●
- ・ 港区芝浦港南地
- ・ 神奈川県●
- ・ 川口市●
- ・ 松戸市金ヶ作終
- ・ 区総合支所★
- ・ 横浜市港湾局●
- ・ 所沢市●
- ・ 末処理場 松戸
- ・ 江東区●
- ・ 横浜市環境創造
- ・ 春日部市●
- ・ 市東部クリーン
- ・ 品川区●
- ・ 局●
- ・ 狭山市●
- ・ センター●
- ・ 大田区●
- ・ 川崎市●
- ・ 草加市●
- ・ 習志野市●
- ・ 北区●
- ・ 横須賀市●
- ・ 越谷市●
- ・ 浦安市●
- ・ 板橋区●◆
- ・ 千葉県●
- ・ 袖ヶ浦市●
- ・ 江戸川区●◆
- ・ 千葉県●
- ・ 東京都●◆
- ・ 八王子市●

<国：5機関>

(内訳：水質調査 5機関 生物調査 1機関 環境啓発イベント 1機関)

- ・ 海上保安庁 海洋情報部●
- ・ 関東地方整備局 東京空港整備事務所●
- ・ 海上保安庁 第三管区海上保安本部●
- ・ 関東地方整備局
- ・ 関東地方整備局 千葉港湾事務所●
- ・ 横浜港湾空港技術調査事務所●◆★

令和元年度 生物調査一覧（実施日順・7月24日現在）

調査地点又は海域	調査予定時期	調査内容	主催者
① 東京都内湾 ② 都内湾 環境基準地点 8箇所他	① 4月～11月 ② 8月7日、8日	① 底生生物、魚類（稚魚、 成魚）、付着生物、鳥類 ② 動植物プランクトン （上位10種）	東京都
多摩川河口（羽田空港脇/ 大師橋）	7月16日又は17日	干潟・水生生物	大田区環境マイスターの会
荒川、葛西沖	7月17日、9月12日	魚類・底生動物調査	江戸川区
利根川水系境川下流護岸	7月28日、8月24日	マハゼの棲み処調査	浦安水辺の会
石神井川2地点 白子川2地点	7月下旬	魚類、底生生物	板橋区
葛西海浜公園	7月末大潮時	生物観察	NPO 法人 21世紀水倶楽部

調査地点又は海域	調査予定時期	調査内容	主催者
東京湾全域	7月～12月	マハゼの棲み処調査	江戸前ハゼ復活プロジェクト
大森ふるさと浜辺公園	7月～8月	マハゼ、アサリ、カニ	大森 海苔のふるさと館
横浜技調 潮彩の渚	7月～9月	アサリの殻長	関東地方整備局 横浜港湾 空港技術調査事務所
荒川河口（右岸小松川自然池周辺の干潟）	7月～9月	生物生息状況調査（干潟）	三洋テクノマリン株式会社
アサリ・干潟調査	7月～8月	千葉県養老川河口干潟、市川市新浜湖、船橋市（三番瀬）海浜公園地区、木更津市金田見立海岸、富津市富津海岸、浦安市（三番瀬）日の出地区	東京湾の環境をよくするために行動する会
東京港野鳥公園 前浜干潟	8月1日	干潟カニ調査	NPO 法人 東京港グリーンボランティア

調査地点又は海域	調査予定時期	調査内容	主催者
三番瀬浦安海岸、 日の出前面	8月3日	アサリわくわく調査	浦安三番瀬を大切にする会
ふなばし三番瀬	8月17日	カニ生息一斉調査	ふなばし三番瀬環境学習館
葛西海浜公園	8月末大潮時	生物観察	生き生き東京湾研究会
多摩川河口域	8月	コアマモ	株式会社 日本海洋生物研究所
海の公園湾内	8月	引網生物調査	横浜・八景島シーパラダイス (株式会社 横浜八景島)
① 山下公園前海域 ② 山下公園前岸壁	① 夏季 (8月～9月) ② 秋季 (10月～11月)	①生物相モニタリング調査 ②化学物質環境実態調査 (生物試料)	横浜市 環境創造局環境科学研究所

調査地点又は海域	調査予定時期	調査内容	主催者
東京湾各地の湿地	9月上旬	シギ・チドリ類調査	東京湾シギチドリ一斉調査グループ
お台場海浜公園周辺	9月ごろ	生き物調査	出光興産株式会社

令和元年度 環境啓発活動等のイベント一覧（実施日順・7月24日現在）

開催場所	実施日	イベント名（活動内容）	主催者
株式会社日本触媒 川崎製造所千鳥工場	6月17日	環境大会の開催（従業員、協力会社約140名対象。事業所環境負荷量の推移説明、環境負荷低減に向けた事業所取組事例の詳細説明。）	株式会社日本触媒 川崎製造所千鳥工場
株式会社日本触媒 川崎製造所浮島工場	6月17日	環境大会の開催（従業員、協力会社約140名対象。事業所環境負荷量の推移説明、環境負荷低減に向けた事業所取組事例の詳細説明。）	株式会社日本触媒 川崎製造所浮島工場
高島水際線公園	7月7日、 9月1日、 10月6日、 11月3日	ハマエビ杯、SUPトライアル、 ハマハゼ杯予行、ハマハゼ杯	高島水際線公園愛護会、 ハマの海を想う会、 海辺づくり研究会
葛西臨海公園／ 西なぎさ	7月20日、 8月17日、 9月7日	西なぎさ発：東京里海エイド	DEXTE-K

開催場所	実施日	イベント名（活動内容）	主催者
日本丸メモリアルパーク	7月21日、 8月11日	シーカヤック子供体験会	公益財団法人 帆船日本丸記念財団
大森ふるさと浜辺公園	7月28日、 8月25日、 8月18日	浜辺の生き物探検隊、浜辺の生き物探検隊、フジツボを観察しよう（小3年以上対象。投網で捕まえた魚などを観察、小3年以上対象。投網で捕まえた魚などを観察、小3年以上対象。沈めたプラ板に付着したフジツボを観察）	大森 海苔のふるさと館
市内小学校、キッズクラブ等	7月29日、 8月11日、 8月16日	出前講座（講座名：横浜の海と海の生き物たち）	横浜市 環境創造局環境科学研究所
横浜・柴漁港	① 7月29日 ② 11月9日	① アマモ種子選別会 ② アマモ苗床づくり・タネねまき	東京湾の環境をよくするために行動する会（金沢八景－東京湾アマモ場再生会議との共催） http://www.tokyowan.jp

開催場所	実施日	イベント名（活動内容）	主催者
野田市役所・野田市商 工会議所・野田市商店 街	7～8月随時	花いっぱい活動	キッコーマン株式会社 環境部
横浜技調 潮彩の渚	8月1日 (予定)	江戸前あさりわくわく調査	関東地方整備局 横浜港湾空港技術調査事務所環境課
象の鼻パーク	8月2日	環境美化活動	ハマの海を想う会 https://sites.google.com/site/hamaumi/
江東区環境情報学習館 えこっくる江東	8月7日	おさかなまるごとウォッチング	船の科学館出前教室
都立お台場海浜公園	8月10～18日	お台場プラージュ（遊泳エリアを設 けて開放する海水浴イベント）	港区 芝浦港南地区総合支所
JNC 石油化学株式会社 市原製造所	9月4日	クリーンデー	JNC 石油化学株式会社 市原製造所環境安全品質部

開催場所	実施日	イベント名（活動内容）	主催者
海の公園 管理センター	9月(10月にも実施あり)	海の環境を考える親子講座	公益財団法人 横浜市緑の協会
横浜赤レンガ倉庫	10月17、19、20、26、27日	東京湾大感謝祭 2019	東京湾大感謝祭実行委員会 http://tbsaisei.com/
幕張メッセ	10月20日	エコメッセ 2019 in ちば（「東京湾の環境をよくするために行動する会」の活動の情報展示）	東京湾の環境をよくするために行動する会（エコメッセ in ちば http://www.ecomesse.com/ ）
横浜・臨港パーク	11月30日、1月25日	夢ワカメ・ワークショップ	海辺つくり研究会 http://umibeken.blue.coocan.jp/
都立つばさ総合高等学校	11月中旬	第16回高校生環境サミット（「東京湾の環境をよくするために行動する会」の活動の情報展示）	東京湾の環境をよくするために行動する会（高校生環境サミット http://www.tsubasa-h.metro.tokyo.jp/ ）

開催場所	実施日	イベント名（活動内容）	主催者
関東地方整備局 （横浜第二合同庁舎）	12月下旬	アマモメッセンジャーによる政策提 言活動	東京湾の環境をよくするために行動する 会 http://www.tokyowan.jp